



自衛隊栃木地方協力本部

佐野市で自衛隊音楽隊コンサートを支援

自衛隊栃木地方協力本部（本部長 梶一陸佐）は7月25日、佐野市文化会館主催「自衛隊音楽隊コンサート2021 in 佐野」を支援した。佐野市では自衛隊の音楽隊によるコンサートを2年に1度開催している。今回の演奏は陸上自衛隊第12音楽隊（群馬県榛東村）が担当し、約1時間の生演奏を佐野市民に届けた。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、入場者数は定員の半数以下の約530名に制限した。また、受付場所等の人が集まり易い箇所には床にテープで目印を付け、ソーシャルディスタンスを保てるよう細心の注意を払った。観客を誘導する際には本コンサート協賛の栃木県防衛協会佐野支部、栃木県隊友会佐野支部、佐野市自衛隊家族会、栃木県自衛官募集相談員連絡会の協力を得た。

開演前には佐野市長の挨拶に続き、本部長が東京五輪にちなんで「皆様との輪もますます広がるように、自衛隊を身近に感じられるように楽しんでいただければ」と、開催への謝意を述べた。

演奏曲には東京オリンピック開会式で使用されたゲーム音楽「モンスターハンター」の「英雄の証」や、開催に合わせて作曲されたサザンオールスターズの「東京VICTORY」をはじめ、医療従事者へのエールを送る気持ちを込めて、医療ドラマ3作品（「コードブルー」「ドクターX」）のテーマ曲メドレー等が選ばれ、リズム感のある楽曲に観客は手拍子で応えていた。また、演奏会の途中で第12音楽隊所属の栃木県出身隊員を紹介した際には、大きな拍手で迎えらる場面もあった。

栃木地本は「コンサート関係者の皆様に感謝し、栃木県の自衛隊総合窓口として、今後も地域に密着した活動を続けていく」としている。



任期制隊員が合同企業説明会に参加

自衛隊栃木地方協力本部（本部長 梶一陸佐）は8月31日、栃木県立宇都宮産業展示館マロニエプラザ（宇都宮市）において、令和3年度栃木県任期制隊員合同企業説明会（主催・自衛隊援護協会東京支部、共催・栃木県自衛隊雇用促進協議会）を実施した。

これは来春に自衛隊を任期満了で退職し、栃木県内での再就職を希望する隊員が、県内企業との直接面談により再就職の準備を円滑に行うことを目的としている。

当日は県内に事業所がある企業71社が参加し、陸海空の任期満了退職予定隊員25名に対し、各社の採用担当者が面談形式で会社概要や業務内容、処遇等を説明した。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、面談ブースには飛沫防止シートを設置し、配席もソーシャルディスタンスを考慮して間隔を空ける等、徹底した感染対策を講じた。

参加した隊員は、全員が9社の採用担当者と面談することができ「中身の濃い、非常に収穫の多い説明会だった」ととても参考になった」といった感想があった。

栃木地本は「今後も隊員が退職後の心配をすることなく任務に邁進できるよう、就職援護業務を行っていく」としている。

